

千葉市美術館企画展「小沢剛 不完全—パラレルな美術史」を開催します ～初期の代表作から新作までが一同に会する、関東で14年ぶりとなる大規模個展～

千葉市美術館では、企画展「^{おざわつよし}小沢剛 不完全—パラレルな美術史」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展では、1990年代から国内外で活躍する現代アーティスト小沢剛の初期の代表作から新作までを紹介します。

開催にあたりまして、1月5日（金）15：00から記者の皆さまへの披露説明会、1月6日（土）15：00からオープニングレセプションを実施します、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 平成30年1月6日（土）～2月25日（日）
※休館日 2月5日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館
- 4 ポイント ◆ユーモアとウィットに富んだ小沢作品を初期作から最新作まで一挙公開！

小沢剛は、日常的なことから美術の歴史まで様々な事象を拾い上げ、笑いを誘うユーモアと鋭い批評性を兼ね備えた作品を制作する現代アーティスト。

本展では小沢の名を知らしめた初期の代表作である、牛乳箱を使った世界最小の移動式ギャラリー《なすび画廊》から、石膏像を用いて日本の近代美術教育を問い直す最新作《不完全》まで、スペクタクルな作品が一同に会する。

◆小沢の独特な世界観「パラレルな美術史」とは？

小沢の作品には「もし、〇〇だったら」というパラレルな世界観を使ったものがある。例えば、醤油がかつて画材として使われていたという架空の設定で、過去の有名な美術作品を醤油で再現した《醤油画資料館》。また、戦争画家として時代に翻弄された藤田嗣治がパリではなくバリに行っていたら…という史実とフィクションが入り交じった物語を描き出す《帰って来たペインターF》など、「パラレルな美術史」を生み出している。

◆大規模個展は関東では14年ぶり！

小沢は90年代以降国内外で活躍しており、本展は2004年に東京で開催した「同時に答えるYesとNo！」（森美術館）以来、関東では久しぶりの大規模個展となる。

本展のタイトルに選ばれている「不完全」とは、明治時代に活躍した美術史家であり東京美術学校（現・東京藝術大学）の初代校長である岡倉天心の著書『茶の本』に頻出する言葉で、「完全」に対するネガティブな言葉ではなく、「完全」を目指す途上に立つ、限りなく豊かで優しい意味をもつ。

- 5 観覧料 一般 1, 200円(960円)、大学生 700円(560円)
※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※()内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。
※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて1月5日まで販売。
- 6 関連企画 展覧会に関連して、出品作家が登壇するシンポジウムやアーティストトークなどのイベントを行う。

「小沢剛 不完全—パラレルな美術史」披露説明会 開催概要

日時 1月5日(金) 15:00から
場所 千葉市美術館 10階会議室
内容 展示作品をご覧いただき、主な展示作品の見所などを小沢剛氏と担当学芸員からご説明いたします。

「小沢剛 不完全—パラレルな美術史」オープングレセプション

日時 1月6日(土) 15:00から
場所 千葉市美術館 11階講堂
内容 小沢剛氏や来賓の方々とともに展覧会の開催を記念するオープングレセプションを開催します。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 水沼啓和
広報担当 磯野 愛
〒260-8733 中央区中央3-10-8
電話 043-221-2311
FAX 043-221-2316
E-Mail isono@ccma-net.jp